●チュニジア　ヒシェム・ラジュエド氏

●アメリカ　モーリーン・スミス氏

要人往来

諸外国からの要人の往来が頻繁になれば、業界もいちだんと活性化。2013年も多くのVIPの方々の来訪を歓迎します。

●タイ　トンチャイ・スリダマ氏

●トルコ　閣下（右から2人目）と菊間会長を囲んで

●ハワイ　マークマッカートニー氏

日本人観光客の増加を期待

チュニジア　11月29日（木）

駐日チュニジア大使館の参事官観光担当ヒシェム ラジュエド氏

就任挨拶のためにJATAを訪問。「今後JICAの支援を得て、日本市場においてチュニジアの観光促進を行う予定です。現在、政治情勢が安定しており、日本からの観光客が安心して旅行できるでしょう。2012年の外国人観光客の受け入れは500万人規模となりますが、今後は特に日本からの観光客を増やしていきたい」と話されました。

2016年までに日本人観光客を200万人に

ハワイ　12月6日（木）

ハワイ政府観光局プレジデント／CEOマーク・マッカートニー氏

12月6日（木）、中村理事長らを訪問し、「2016年までに日本人の観光客を200万人まで増やしたい。また、『グローバルエントリー』プログラムについても時間はかかると思いますが、前進させるべく活動していきたい」と述べました。中村理事長は、「目標に向けて、日本とハワイが一丸となって、プロモーションをしていきたい」と応じました。

Brand USA展開で日米観光交流の促進を

米国商務省　12月6日（木）

米国商務省の首席次官補代理モーリーン・スミス氏

JATA本部を訪問し。「2012年5月から開始されたBrand USAプロモーションでは、日本が重点市場に指定されており、今後も、日本への観光投資を継続して、日米観光交流の促進をより活性化させたい」と話し、中村理事長らとしばし懇談。

MICE市場に積極的にアプローチ

タイ　12月7日（金）

タイ国政府コンベンション・エキシビション・ビューロー（TCEB）のアクティング・プレジデント、トンチャイ・スリダマ氏

中村理事長らと会談した同氏は、「TCEBはタイでの国際会議、インセンティブツアー、ミーティング、展示会に関するプロモーションやアドバイス、カウンセリングサービスを提供しています。日本からのMICE観光客を増やすべく、地方都市への直行便を運行させ、その地方のコンベンション・ビューローと積極的に情報交換していきたい」と話しました。

デスティネーションとしての知名度アップを

ハイチ　12月7日（金）

ハイチ共和国外務省投資担当のグレゴリー・メヴス氏

菊間会長を訪問し、ハイチのビーチや世界遺産といった観光素材を紹介、「ハイチ政府は観光を開発する方針を定め、外国から投資の誘致に取り組んでいます」とコメント。菊間会長は、「現在のクルーズ旅行に加え、リゾートとして促進されるのが良いのでは。まずは、ハイチに対する危険情報をレベルダウンさせるための働きかけが必要。加えて、日本のガイドブックへの掲載、JATA旅博で出展や観光セミナーを実施すれば、ハイチに関する認識が高まるでしょう」と述べました。

日本人客数35万人を目標に供給座席数を拡大

トルコ　12月10日（月）

トルコ共和国特命全権大使セルダル・クルチ閣下、トルコ航空東京支社長ハサン・ムトゥル氏

クルチ閣下一行と菊間会長が懇談。閣下は「来年の2014年は国交樹立90周年、またトルコ航空の日本トルコ間直行便の就航25周年で、1年をかけてトルコへの日本人観光客35万人を達成するという目標を定めました。その目標達成に向けて、まずは日本とトルコ間の座席供給を拡大させたいと思います」として、業界の協力を要望。菊間会長は、「トルコへのアクセスが拡大されれば、35万人の目標は現実的だと思いますが、これからその目標を達成するための具体的な計画を立てることが必要でしょう」と話しました。

ブータン政府観光局日本事務所が開設

ブータン政府観光局日本事務所が開設され、1月1日より業務を開始しています。2011年のブータン王国国王ご夫妻の訪日効果もあり、ブータンを訪れる日本人観光客数はこのところ急増しています。本国のブータン観光局への問い合わせも増加しており、今回の日本事務所開設となったものです。

なお、日本事務所の運営は株式会社エージーティー（辻泰正代表取締役会長）が担当します。

住所:〒106-0002 東京都港区愛宕1丁目1-9愛宕チャンピオンビル2階
電話:03-5472-1151／FAX:03-5472-1152
メール:japan@tourism.gov.bt
日本語サイトURL:http://www.travel-to-bhutan.jp/